

## オーストラリア金融政策（2019年4月）

米国に連れて低下する市場金利が反転すれば、豪ドルは反発へ

2019年4月2日

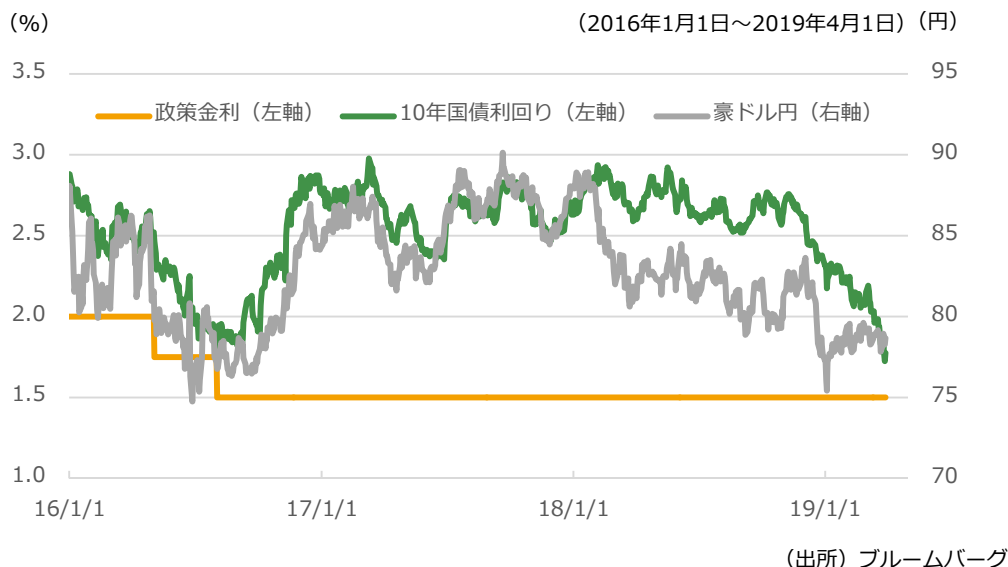
### 中立的な金融政策姿勢は実質的に不変

2019年4月2日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は市場予想通り政策金利を1.5%に据え置くことを決定しました。年明け以降、先進国の主要中央銀行が次々と政策姿勢を緩和方向へ傾斜させるなか、先週はRBNZ（ニュージーランド準備銀行）が「次の一手」は利下げの可能性が高いことを明言しました。RBAも2018年4月以降ほぼ全ての会合の議事録で、金融政策の「次の一手」は利上げと記してきましたが、2019年2月の議事録から、利上げと利下げの可能性は均衡しているとし、中立姿勢に変化しています。

今回の声明文では、物価見通しならびに金融政策姿勢に目立った変化は認められませんでした。ただし、2018年2月以降一言一句同じであった、声明文の最終段落の記述がわずかに変化し、「経済動向を引き続き注視し、金融政策を定める」との表現が追加されました。幾分慎重な姿勢の反映と解釈できます。

利下げの可能性を織り込みつつ、10年国債利回りは米国に連れて低下し、現在2%を下回っています。確かに、住宅市場や個人消費に弱さは見られますが、雇用情勢は堅調なままで、既に緩和的な金融環境が景気の下支えとして働くことや、中国の経済指標の一部に改善の兆しがうかがえることから、現実に利下げが必要となる可能性は現時点では低いと考えられます。市場の利下げ期待が後退し、市場金利が早晚反転上昇すれば、金利に連動して下落している豪ドル円の反発も期待できます。

#### オーストラリアの金利と為替



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。